

2025 年度事業計画
(2025 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日)

1. 基本方針

1.1 ビジョン(将来像)

星空・宇宙に親しむための活動を行うことで心豊かな市民生活の実現に寄与する。また、宇宙から地球や人類を見つめる観点を普及し、地球環境の保全や世界平和に貢献する。

1.2 ミッション(機構の使命・役割：現在)

- a. 星空や宇宙について、科学的な理解、観察の技能、文化的背景の理解及びそれらを人に伝えるための方法等の星空案内の総合的な能力を育み認定する(以下、「星空案内人資格認定制度」あるいは単に「制度」と呼ぶ)事業を行い、もって科学の普及発展、文化の振興に寄与する。
- b. 星空・宇宙に親しむことで明るく豊かな市民生活の振興を図る活動をおこなう。(なお、この活動は上記星空案内人資格認定制度に関わるものに限らずさまざまな活動を含むものとする。)
- c. 星空・宇宙に親しむ市民の自主的な活動を支援し、同時に、同様の目的で活動する星空案内に携わる方、科学館、公開天文台、プラネタリウムなどの活動を支援する。

1.3 スローガン

- 町内に一人(職場に一人)星空案内人
- 「お茶」「お華」「お星」
- 講座開催地 50 から 100 へ、星空案内人 1 万人から 10 万人へ

2. 事業計画

()内は当該分野の世話人

A 認定制度事業部(柴田)

星空案内人資格認定制度の円滑な運営を図る事業を行う。
以下の事業グループを設置する。

A1 制度維持・管理(萩野)

[目標]

資格認定制度(規則、講義要綱、認定基準)を適正に保つ。

[事業計画]

認定基準のメンテナンスの実施。

「星空案内の実際」の認定チェックシートの整備を進める。

認定基準の整備計画の作成を進める。

認定基準科目ごとの整備。

[事業計画エクストラ]

認定チェックシートについて 望遠鏡を使ってみようの認定チェックシートの英語版について作成を進める。

A2 実施団体様「御用聞き」活動(萩野・井阪)

[目標]

実施団体の状況を把握し、課題を共有する。

実施団体への星のソムリエに関する各種制度(商標、cafe など)の広報活動を行う。

[事業計画]

実施団体の抱える課題を機構と共有するために情報交換を行える仕組みづくりを進める。

星のソムリエに関する各種制度(商標、cafe など)を取り扱う各事業グループの取り組みを取りまとめ実施団体に向けて、広報案内パッケージを整備し、広報できる仕組みを整備する。

A3 新規参加を目指す団体へのサポート](萩野)

[目標]

実施団体へ参加のための説明会を開催する。

審査の段階でのサポートの充実を行い、計画書の作成・実施に向けての準備等の支援を行う。

[事業計画]

年4回程度の新規実施を目指す団体向けの説明会を開催する。

新規団体が申請書・計画書の作成・修正で審査員・審査担当以外のサポートが受けられる体制を整備する。

A4 機構附属講座(柴田)

[目標]

機構が直営講座を持つことで実施団体の抱える課題や受講生の動向などを直接理解し、講座運営の方法を研究する。

講義要綱、認定基準などの改善のための実験を行う。

[事業計画]

1. 星のソムリエ仙台ラボ講座(III 期目)を開講する。
2. 望遠鏡を使わない案内人の認定の実証実験を進める。
3. 星のソムリエ仙台の運営を行う。
4. 仙台以外の開講の可能性を検討する。
5. 他のグループから実験の要請があれば対応する。

A5 新ブランド立ち上げ(柴田・萩野)

[目標]

現在の星のソムリエとは別のブランドの事業を立ち上げて、底辺拡大を図る(「お星」に向けた企画)。

[事業計画]

1. 「お客様」へのサービスをする立場になる人への講座・新資格の設立。
2. 準案内人で止まってしまっている人に対するハードルの低い資格の新設により、準案内人の絆によって星空案内人の資格認定が得られる仕組みの検討。
3. そのほか、底辺を拡大するための新しいブランドの創出を検討する。

A6 事業部内共同事業（柴田、甲田）

[事業計画]

制度維持のために必要な以下の業務を行う。

1. 新規団体審査を行う。

A7 その他の事業

[事業計画]

必要に応じて以下の事業を行う。

講義資料提供、講師研修、オンライン講座、単位互換の世話、終了した実施団体のケア。

B 育成支援事業部(萩野、井阪)

星空案内人を育成し活動を支援する事業を行う。

以下の事業グループを設置する。

B1 全国星のソムリエサポート(井阪)

[目標]

全国の星のソムリエの資格を持つすべての人が「星のソムリエになって良かった」と思えるようなハード面・ソフト面両方でのサポートをおこなう。

[事業計画]

1. ペーパー星のソムリエへの講座開催。

2. シンポジウムの開催。
3. ワークショップの実施と成果物の販売。

B2 星のソムリエ cafe の運営(井阪)

[目標]

「星のソムリエが機構を支援する」「機構が星のソムリエを支援する」「星のソムリエ同士がつながる」を合言葉に 2025 年 3 月に設立した「星のソムリエ®cafe」を潤滑に運営する。

[事業計画]

1. 代表・会計・グッズ・会員管理・掲示板運営の各担当者が密に連携を取り会員に満足していただける運営をおこなう。
2. より魅力的な内容になり「入ってよかった」と思っていたけるよう会員限定サービスなどに協力していただける企業や個人事業主への営業をおこなう。
3. 会員からの口コミや実施団体への営業活動で会員数増加につとめる。

B3 ペーパーソムリエ対策(井阪)

[目標]

星のソムリエの資格取得後に、活動に活かせていない、意欲があっても活動ができていないような星のソムリエが輝けるような支援を行う。

[事業計画]

1. 2025 年 4 月から大阪でスタートした「ペーパー星のソムリエ®のための講座」を継続して実施する
2. 大阪だけではなく全国に広めることを視野に入れて、次の実施地の選定・実施計画を立てる。

B4 シンポジウム(柴田)

[目標]

星空案内の活動を推進するための交流、研修を行える場としてシンポジウムを開催する。

[事業計画]

1. 与論島での第 18 回シンポジウムを成功させる。
2. 山形での第 19 回シンポジウムの準備を行う。

3. シンポジウム開催に必要なその他の事業を行う。

B5 星のソムリエのワークショップ(柴田)

[目標]

星のソムリエの活動を推進するための方法を、ワークショップ開催を通して研究する。
ワークショップの開催の成果物を制作し販売する。

[事業計画]

1. 第3回星のソムリエのワークショップを開催する。
2. 第2回星のソムリエワークショップの成果物の販売

B5 その他の事業(萩野)

必要に応じて以下の事業を行う。

星のソムリエユース（子ども向けの育成事業）（子ども）。地域活動支援。海外との交流（海外交流）。ハンディキャップを持った人達への星空案内の研究・開発。なんでも情報交換会の開催。悩み相談窓口。

以上